

取扱説明書

KM-20Tシリーズ

【水晶式親時計カード式6回路プログラムタイマー付】

KM-20Tシリーズ水晶式親時計の取扱説明書

カード式6回路プログラムタイマー付

株式会社 T.I.C.-CITIZEN

このたびは、弊社の親時計をお買上げいただきましてありがとうございます。取扱説明書をお読みいただき、機能を十分活用してお使いいただくことを願います。

お手許の製品の型名を内部銘板により、ご確認下さい。型番により付属機能が異なります。下記型名と照合してください。

壁掛型

パネル型

型 式	子 時 計		電 子 チャイム 装 置	ラジコ ンロール 装 置	重 量 (約kg)	型 式	子 時 計		電 子 チャイム 装 置	ラジコ ンロール 装 置	重 量 (約kg)
	回線数	駆動数					回線数	駆動数			
KM-20T-1P~4P	1~4	30 ~120	—	—	最大 11.0	KM-20PET-1P~4P	1~4	30 ~120	—	—	最大 12.0
KM-20TR-1P~4P	1~4	30 ~120	—	付	最大 11.5	KM-20PETR-1P~4P	1~4	30 ~120	—	付	最大 12.5
KM-20TC-1P~4P	1~4	30 ~120	付	—	最大 11.5	KM-20PETC-1P~4P	1~4	30 ~120	付	—	最大 12.5
KM-20TCR-1P~4P	1~4	30 ~120	付	付	最大 12.0	KM-20PETCR-1P~4P	1~4	30 ~120	付	付	最大 13.0
T-2428	同期式プログラムタイマ				8.0	T-2428PE	同期式プログラムタイマ				9.0
PT-8206	単独式プログラムタイマ				8.0	PT-8206PE	単独式プログラムタイマ				9.0

本機の結線及び取扱にあたっては、10項の各部の名称と機能を、参照しながら行なってください。(13~14頁)

1. 取付、配線工事上のご注意

1-1) 設置場所について

日光の直射をうけず、振動、ほこりが少なく湿度の低い場所をおえらびください。

1-2) 扉の開閉について

右図の●印の位置を強く押すと扉が上に開きます。

閉めるときも同位置を押してください。

1-3) 取付について

まず取付箇所の強度が時計の重量に対して十分であるか確認してください。

上部の2箇所の取付穴に使用する木ネジは6mmφ、長さ5cm以上のもので確実に取付けてください。コンクリート壁の場合はウォールアンカー等をご使用ください。アウトレットボックスの塗代カバーにボディビスで取付けることは強度に問題がありますので絶対にしないでください。

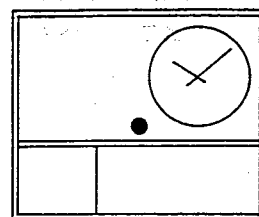
1-4) 電源について

AC100Vの入力電源は消灯されることのない、常夜灯回路を使用してください。

1-5) 子時計の接続について

子時計配線は、時計の極性識別のため色分けをしてください。

線路の接続、分岐は必ずボックス内で行ない確実に圧着してください。



1-6) 接地 (アース) 工事について (アース端子は ⑨)

- ① この親時計にはサージアブソーバ (異常電圧吸収器: 避雷器ではありません。) が組込まれていますので適切な接地工事をする事によりその効果が発揮されますので必ず接地工事を行なってください。
- ② 接地工事をする事により時計の対雑音対策は向上しますが、安易に他の電力機器と共通のフレームグラントを行なった場合は、その電力機器の干渉により時計の精度に悪影響をあたえることもありますのでご注意ください。

1-7) 絶縁試験について

親時計に接続されるラインの絶縁試験は配線を時計端子より切りはなして行なってください。接続したまま絶縁試験を行なうと親時計が破損します。

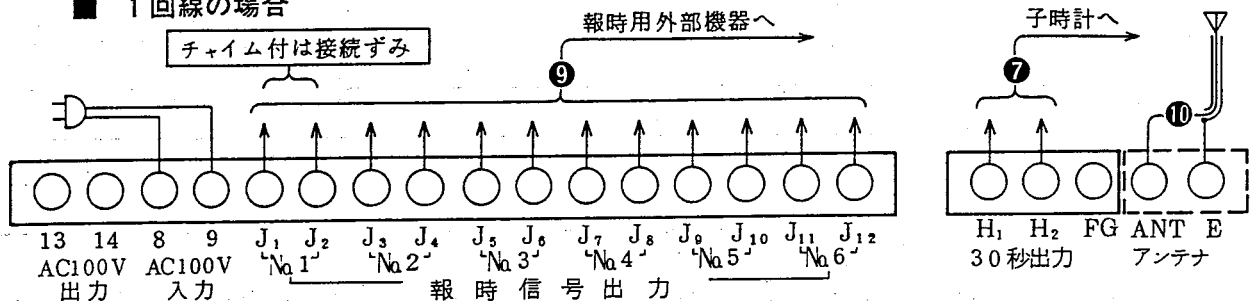
1-8) アンテナ工事について

必ず屋外に AM 用 アンテナを取りつけ同軸ケーブルで端子へ接続してください。

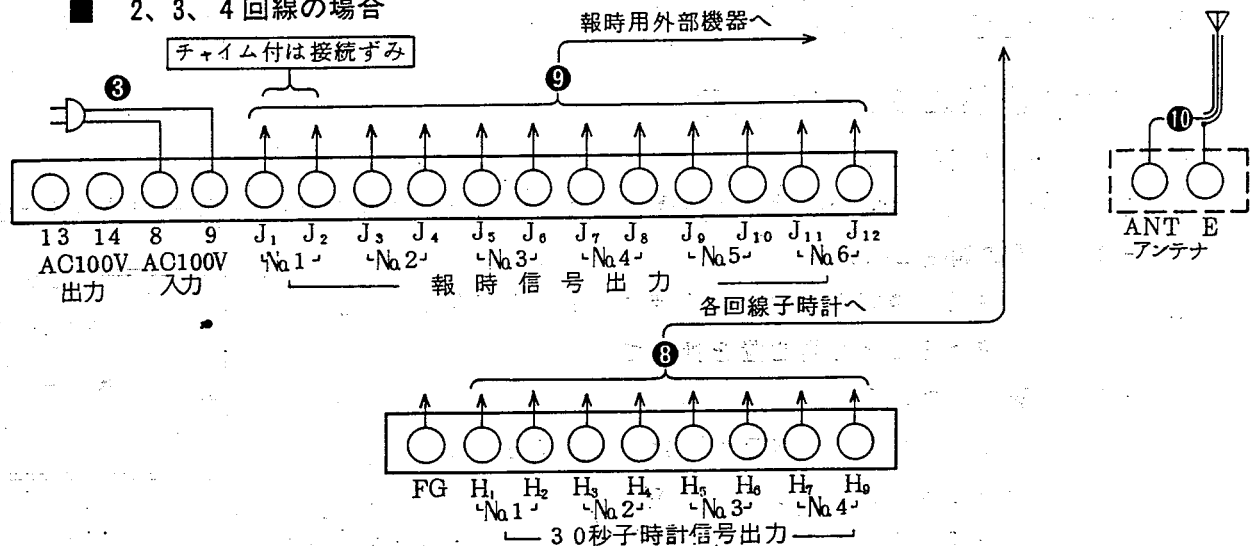
1-9) 結線について

下図により確実に接続してください。

■ 1 回線の場合

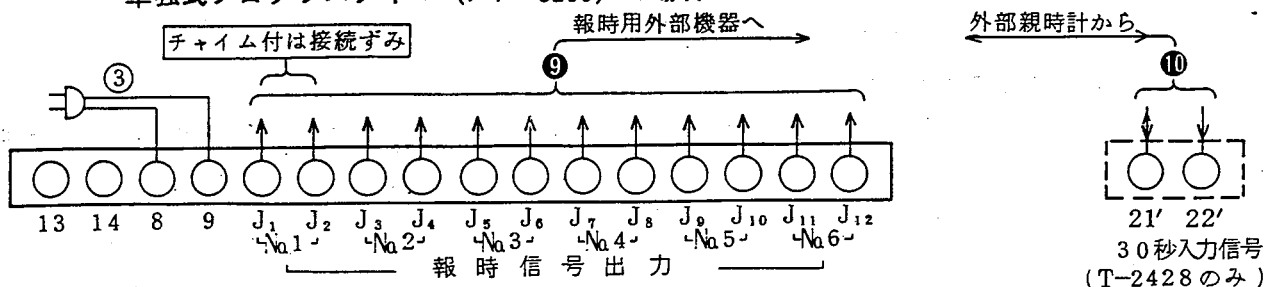


■ 2、3、4 回線の場合

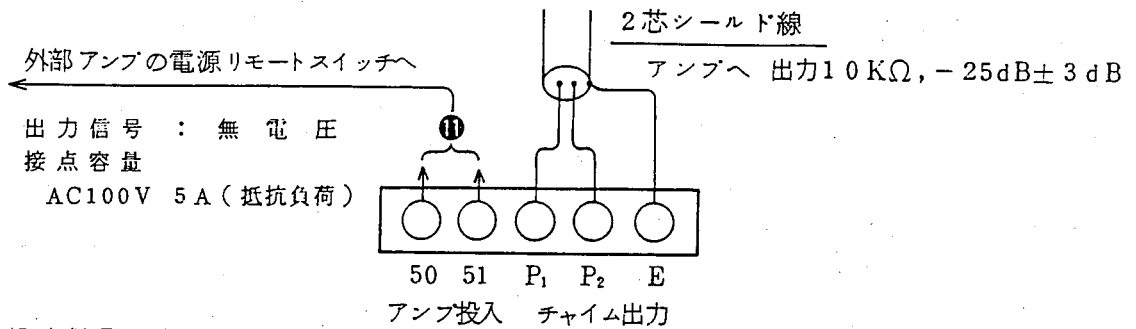


■ 子時計式プログラムタイマ (T-2428)

単独式プログラムタイマ (PT-8206) の場合



■ 電子チャイムの結線



註 ● 報時信号出力回路について

① 負荷容量

6回路とも、AC125V、2A(抵抗負荷)です。2Aをこえる負荷容量の場合は、必ず電磁開閉器または電磁接触器を併用してください。

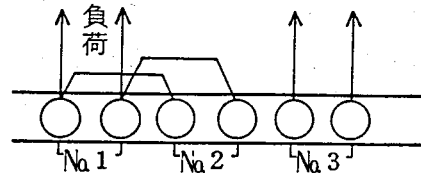
② 出力端子の信号

6回路とも無電圧メイク信号です。

③ 結線要領

6種類の負荷をタイムコントロールする場合は、各々の負荷をNo.1～No.6までの端子に結線してください。夏時間・冬時間、通常・試験といった使い方の場合には、一つの負荷でも2回路以上使い、出力スイッチで切換えることになります。この場合は、出力端子に渡り線を結んでください。

2. 時計の運転方法



2-1) 親時計のモニタ①②及び各部屋の時分針を同じ時刻に合わせます。

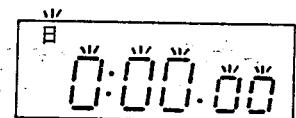
時分針を個々に合わせる場合、扉裏面の機体のツマミを回してください。

2-2) 調針切換スイッチ⑩⑪を「断」にします。

2-3) AC電源スイッチ⑬を「接」にします。

デジタル表示部⑮が右図のように点滅しながら動き始めます。

時刻合わせ操作をすると、点滅はとまります。



2-4) DC電源スイッチ⑭を「接」にします。

2-5) デジタル時計を合わせます。

時刻合わせキー⑮の操作により行ないます。

時計 キーを押したまま

曜日 キーを押すと、押すたびに日月火と曜日が変わります。

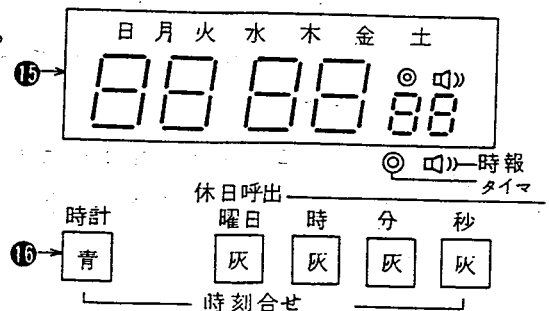
時 キーを押すと、押すたびに時が1時間ずつ変わります。

分 キーを押すと、押すたびに分が1分ずつ変わります。

秒 キーを押した瞬間に00秒になり、1、2、3...秒と動きます。

時報と同時に押すことにより、秒まで正確に合わせられます。

時計 キーをはなすと、秒から分、分から時、時から曜日へと桁上げが始まります。このキーを押している間は、子時計信号は出ません。



時刻合わせができない場合は、DC電源スイッチ、およびAC電源スイッチを断にし、10秒待ってから再度2-3) からやりなおしてください。

2-6) 調針切換スイッチ ⑬ ⑭ を常にもどします。

2-7) 主モニタ ①、子時計回線モニタ ② 及び外部子時計を合わせます。

■ 一斉調針

調針切換スイッチ ⑬ で調整します。

デジタル時計 ⑮ に対して

① 全ての時分針が進んでいる場合

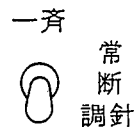
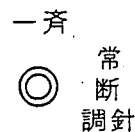
スイッチを「常」から「断」にします。

正しい時刻になったら「常」に戻します。

② 全ての時分針が遅れている場合

スイッチを「常」から「調針」にします。

正しい時刻になったら「常」に戻します。



■ 回線毎の時分針の調整

各回線毎に調整する場合は、調針切換スイッチ ⑬ で調整します。

この場合夫々の回線モニタ ② は、修正信号で動作しますが、主モニタは正しい時計信号で動作します。調針切換スイッチのNo.1～No.4と回線モニタのNo.1～No.4とは夫々対応します。

主モニタ ① に対して

① 回線の時分針が進んでいる場合

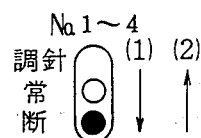
スイッチを「常」から「断」にします。

正しい時刻になったら「常」に戻します。

② 回線の時分針が遅れている場合

スイッチを「常」から「調針」にします。

正しい時刻になったら「常」に戻します。



2-8) 0秒合わせ (赤色キー)

時計 キーを押したまま

0秒合わせ キーを押す。

表示部 ⑮ に表示されている現在時刻が、0秒から29秒台であれば、その間時計は停止する。

30秒から50秒台であれば、早送りされ遅れをとり戻すと、正常に動作します。

この操作を行なった場合は必ず分針を確認してください。±30秒以上進み遅れていた場合は1分くるうことになります。

以上で時計の時刻合わせは終わります。次に時報回路の使用目的を明確にしてプログラムを設定します。

3. 報時用プログラムの設定について

プログラムの設定は、すべて付属のカードにより行ないます。

3-1) カード作成前の準備作業

■ 本機に接続する機器の内容と、それが接続されている回路を調べてください。

	1 回路	2 回路	3 回路	4 回路	5 回路	6 回路
何を動作させるか	チャイム	トイレ給止水	外 灯	照 明 A	照 明 B	空 調
タイマーか時報か	時 報	タ イ マ	タ イ マ	タ イ マ	タ イ マ	タ イ マ
機器の設置場所	放 送 室	ト イ レ A	屋 外	Aブロック	Bブロック	Aブロック

註 時報とは〇時〇分に〇秒間、ベルを鳴らすような働きのものをいいます。

タイマとは〇時〇分に入れて〇時〇分に切るような働きのものをいいます。

■ 1つの回路に設定する時刻を曜日毎に記入した表を下表のように作成してください。

記入用紙は本巻末に 6 回路分付属します。

プログラム設定表

記入年月日 60年 1 月 21 日

用途	チャイム	使用回路	下の一つを○で囲む					
	時報	タイマ	吹鳴時間	入時刻	切時刻			
カード No.	1	1	2	1	1	3		
曜日	日	月	火	水	木	金	土	
時刻	8:15	8:15	8:15	8:15	8:15	8:15	8:15	
註	8:20	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25	
1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使	8:35	9:10	9:10	9:10	9:10	9:10	9:10	
2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時	8:40	9:20	9:20	9:20	9:20	9:20	9:20	
	9:25	10:05	10:05	10:05	10:05	10:05	10:05	
	9:35	10:15	10:15	10:15	10:15	10:15	10:15	
	10:20	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	
	10:30	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	
	11:15	11:55	11:55	11:55	11:55	11:55	11:55	
	11:25	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25	
	12:10	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	
	12:40	13:35	13:35	13:35	13:35	13:35	13:35	
	13:05	13:45	13:45	13:45	13:45	13:45	13:45	
	13:10	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	
	13:55	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	
	14:50	15:25	15:25	15:25	15:25	15:25	15:25	

例-1

用途	トイレ給止水	使用回路	下の一つを○で囲む					
	時報	タイマ	吹鳴時間	入時刻	切時刻			
カード No.	4	1	1	2	1	1	3	
曜日	日	月	火	水	木	金	土	
時刻	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	
註	8:05	8:20	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25	
1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使	12:00	8:35	9:10	9:10	9:10	9:10	9:10	
2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時	12:10	8:40	9:20	9:20	9:20	9:20	9:20	
	15:00	9:25	10:05	10:05	10:05	10:05	10:05	
	15:05	9:35	10:15	10:15	10:15	10:15	10:15	
	18:00	10:20	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	
	18:05	10:30	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	
	21:00	11:15	11:55	11:55	11:55	11:55	11:55	
	21:05	11:25	12:05	12:05	12:05	12:05	12:05	
	12:10	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25	
	12:20	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	
	12:40	13:35	13:35	13:35	13:35	13:35	13:35	
	13:05	13:45	13:45	13:45	13:45	13:45	13:45	
	13:55	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	
	14:50	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	

例-2

■ 1回路分のカードを作成するには何枚使ってもかまいませんが、判りやすく曜日毎に作成してください。曜日が違ってても設定する時刻が全部同じなら1枚のカードが使えます。

例1の場合は、月、火、木、金曜で1枚、水曜で1枚、土曜で1枚、計3枚が必要です。

3 - 2) カードの作成

付属カードの記入枠(□)の中を堅い下敷きの上でHB又はBの鉛筆で太く塗りつぶしてください。柔軟性のマット上で記入すると、設定不良になります。このカードは3種類の目的に使えます。

A. プログラムを設定する場合

B. プログラムを全部又は回路毎に消去する場合

C. 休日設定をする場合

A. 設定用カードの作成

準備作業で作成したプログラム設定表を見ながらカードを作成してください。

全 消 去
① 回路消去

② 回路指定

③ 時報・タイム

④ 吹鳴時間

⑤ 曜日指定

⑥ 時刻指定

時 1 位
時 10 位

分 10 位
分 1 位

回路

注 意 事 項

○ 訂正に用いるには文字等を入力すること。
○ 訂正に用いるには文字等を入力すること。
○ マーカは特の中を指定するの始端で太く、深く、記入。

用途 チヤイム

放送日 年月日 60 / 21

全消去	回路指定	時報	吹鳴時間	曜日指定	時刻指定	時 1 位																分 10 位				分 1 位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
入	入	入	入	入	入	08:15	08:20	08:30	08:40	08:50	09:00	09:10	09:20	09:30	09:40	09:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50	13:00	13:10	13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50	15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30	16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10	18:20	18:30	18:40	18:50	19:00	19:10	19:20	19:30	19:40	19:50	20:00	20:10	20:20	20:30	20:40	20:50	21:00	21:10	21:20	21:30	21:40	21:50	22:00	22:10	22:20	22:30	22:40	22:50	23:00	23:10	23:20	23:30	23:40	23:50	24:00	24:10	24:20	24:30	24:40	24:50	25:00	25:10	25:20	25:30	25:40	25:50	26:00	26:10	26:20	26:30	26:40	26:50	27:00	27:10	27:20	27:30	27:40	27:50	28:00	28:10	28:20	28:30	28:40	28:50	29:00	29:10	29:20	29:30	29:40	29:50	30:00	30:10	30:20	30:30	30:40	30:50	31:00	31:10	31:20	31:30	31:40	31:50	32:00	32:10	32:20	32:30	32:40	32:50	33:00	33:10	33:20	33:30	33:40	33:50	34:00	34:10	34:20	34:30	34:40	34:50	35:00	35:10	35:20	35:30	35:40	35:50	36:00	36:10	36:20	36:30	36:40	36:50	37:00	37:10	37:20	37:30	37:40	37:50	38:00	38:10	38:20	38:30	38:40	38:50	39:00	39:10	39:20	39:30	39:40	39:50	40:00	40:10	40:20	40:30	40:40	40:50	41:00	41:10	41:20	41:30	41:40	41:50	42:00	42:10	42:20	42:30	42:40	42:50	43:00	43:10	43:20	43:30	43:40	43:50	44:00	44:10	44:20	44:30	44:40	44:50	45:00	45:10	45:20	45:30	45:40	45:50	46:00	46:10	46:20	46:30	46:40	46:50	47:00	47:10	47:20	47:30	47:40	47:50	48:00	48:10	48:20	48:30	48:40	48:50	49:00	49:10	49:20	49:30	49:40	49:50	50:00	50:10	50:20	50:30	50:40	50:50	51:00	51:10	51:20	51:30	51:40	51:50	52:00	52:10	52:20	52:30	52:40	52:50	53:00	53:10	53:20	53:30	53:40	53:50	54:00	54:10	54:20	54:30	54:40	54:50	55:00	55:10	55:20	55:30	55:40	55:50	56:00	56:10	56:20	56:30	56:40	56:50	57:00	57:10	57:20	57:30	57:40	57:50	58:00	58:10	58:20	58:30	58:40	58:50	59:00	59:10	59:20	59:30	59:40	59:50	60:00	60:10	60:20	60:30	60:40	60:50	61:00	61:10	61:20	61:30	61:40	61:50	62:00	62:10	62:20	62:30	62:40	62:50	63:00	63:10	63:20	63:30	63:40	63:50	64:00	64:10	64:20	64:30	64:40

設定表の例 1 カード№ 1 を記入したカード例

タイムマーク

- A-1) 用途、回路①、記入年月日を記入する。
- A-2) 時刻指定⑥の上欄に設定時刻を記入する。
- A-3) 回路指定欄②に使用する回路1~6のうち1つだけ記入する。
- A-4) 時報、タイマ欄③に、その回路は時報として使うのか、タイマーとして使うのか記入する。
- A-5) 時報の場合には吹鳴時間欄④に、時報を何秒間継続して吹鳴させるか記入する。

当社チャイムの場合は -3 に記入すると、アンプは指定時刻の 3 秒前に電源が入り、指定時刻にチャイムが鳴り始めます。

- A-6) 曜日指定欄 ⑤ に動作させる曜日を記入する。設定例の場合は月火木金と
4 箇所記入してありますがこのように、この欄は何箇所記入してもかまいません。
- A-7) 時刻指定欄 ⑥ に時刻を記入する。

時報の場合は時刻順でなくてもかまいません。記入洩れは最後に記入しても途中に記入してもかまいません。

タイマーの場合は入と切の時刻は必ずペアで記入してください。ペアの順番は時刻順でなくてもかまいません。入切の欄には無関係に1枚で28時刻設定できます。

タイマーの入の時刻が作成中の曜日であり、切りの時刻が翌日の場合は、このカードに入とペアで記入してください。

(18:30)	(6:00)
-----------	----------

- A-8) 1枚目のカードに記入しきれなかった場合

(18:30)	(6:00)
入	切

A-1～A-6 まで全く同じに記入し、残った時刻
を 2 枚目のカードに記入し、カードを作成してください。

- A-9) 動作時刻の違う曜日のカードを作成する。

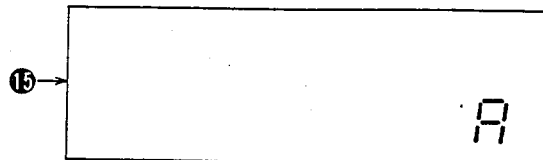
設定表の例 1. カード No. 2 及び 3 のカード、即ち水曜と土曜のカードを、
A-1 ~ A-5 まで全く同じで、A-6 の曜日と A-7 の時刻だけ異なった
ものを作成する。

B. プログラム消去用カードの作成

プログラムの変更又はプログラムに間違いのあった場合は、全回路又は変更する回路だけプログラムを消去してから設定しなおすことができます。

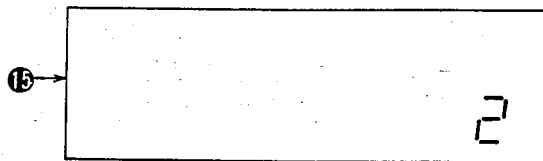
B-1) 全回路のプログラムを消去する場合

全消去欄 ① の「消」に記入してください。全消去はすべてに優先しますから、他の欄に何が記入されていてもかまいませんので、設定カードを利用してもよいが、必ず使用後は消しておいてください。表示部 ⑬ にはオールクリアの「A」を表示し5秒後に現在時刻に戻ります。



B-2) 特定の回路だけプログラムを消去する場合

回路消去欄 ① の「消」に記入し、回路指定欄 ② に消去したい回路を1つだけ記入してください。他の欄に何が記入されていてもかまいませんので、その回路用設定カードを利用すると便利です。表示部 ⑬ には秒の1位に回路番号を表示し5秒後に現在時刻に戻ります。



註

1つの回路の設定に何枚かのカードを使用している場合は、そのうち1枚だけ変更したい場合でも、その回路を消してから、変更したカードも含めて、全カードを設定しなおしてください。

C. 休日設定カードの作成

1週間以内に臨時休日がある場合、あらかじめ臨時休日になる曜日を、定休日のプログラムに変更させることができます。設定した曜日がすぎると翌週は平常通りのプログラムに自動的に戻ります。

C-1) 休日設定欄 ① の「休」に記入し、曜日指定欄 ⑤ の臨時休日になる曜日に記入します。

連休になる場合等曜日は何箇所記入してもかまいませんが、必ず指定したい曜日が例えば来週の水曜日であれば、今週の水曜日を過ぎてから設定してください。

C-2) 回路指定欄に何も記入しなければ、全回路切換わります。回路指定欄に記入すると、記入した回路は切換わらないので、外灯のように特定の機器だけは平常通りに動作させることができます。

C-3) 表示部には、指定した曜日以外の曜日がすべて表示され、5秒後に現在時刻に戻ります。

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

水曜日は3、4回路を除いたすべての回路が定休日のプログラムで動作する。

日 月 火 木 金 土

休日設定専用カードを用意し、曜日指定欄だけ修正する方法をおすすめします。

③ 回路変更は、②の取り消しを行ってから設定しなおす。

標準品は日曜日が定休日となっていますから、休日設定すると日曜日のプログラムで各機器は動作します。日曜日以外が定休日の場合は内部で変更可能です。この場合は弊社にご連絡ください。

■ 設定方法

作成したカードを、カードリーダー ③ の挿入口 ① から印刷面を手前にし、矢印側から挿入しますと、自動的にカードが引込まれ、カード取出口 ② から出てきて停止します。静かに引き出してください。

表示部 ⑮ に表示されていた現在時刻は、自動で引込み中は消え、停止すると回路、曜日及び最終に記入した時刻を表示します。5 秒後に現在時刻に戻ります。

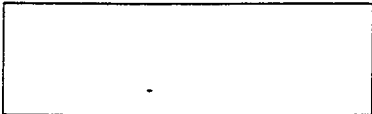
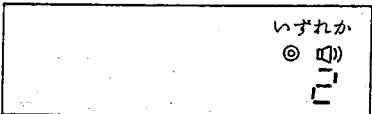
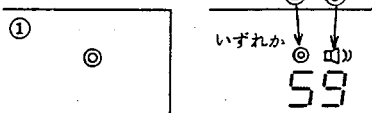
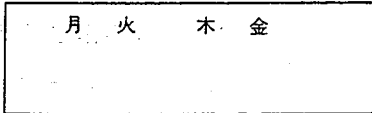
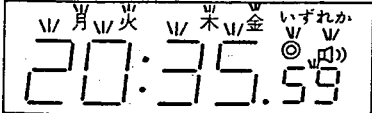
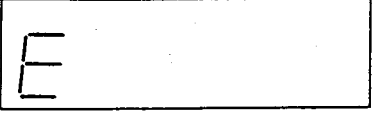
月 火 木 金
14:50.1

② カードを連続で挿入する場合は、通し終って5秒経過し、表示部 ⑮ が現在時刻になってから次のカードを挿入してください。

■ 設定エラーの内容と表示

カードに記入した内容に誤りのあった場合、または記入の仕方が各記入枠に対し、不正確であった場合には、表示部 ⑬ には記入不良箇所の一つ手前の表示を示します。

例えば 8 時、9 時、10 時、11 時、12 時と記入したのに、カードを通し終わったら、表示が 10:00 と表示された場合は 10 時までは正しく受け付けたのですから、メモをとっておき 11 時の記入の所を点検し修正してから、再びカードを通してください。12 時を表示すれば、正しく全部受け付けられ、始めてこのカードは記憶されます。

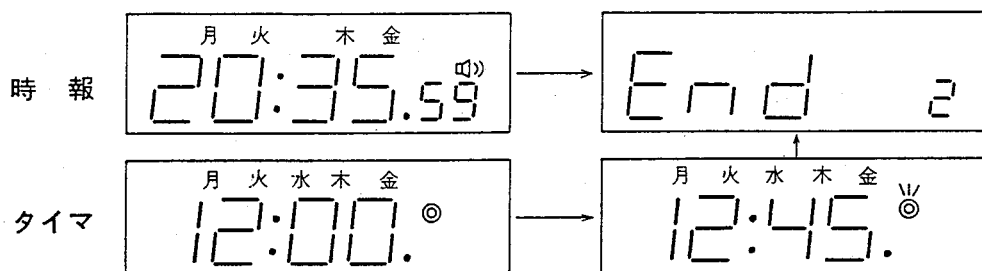
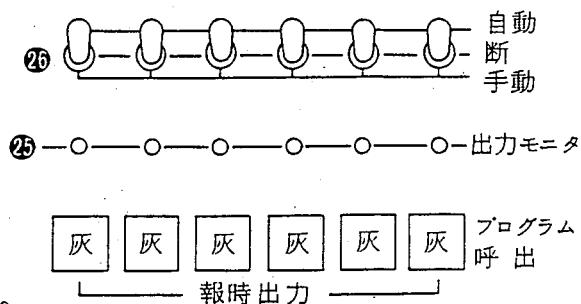
不良箇所	不良内容	表示
回路消去	消と記入して、回路を指定しない場合。	無表示
回路指定	2 つ以上指定した。(よどれ含) 全く記入しなかった。(記入不良含)	
時報タイマ	両方とも記入した。 全く記入しなかった。 以前の設定(1 枚目と 2 枚目)と違う。	回路を秒の 1 位に表示 
吹鳴時間	秒の 10 位又は 1 位に 2 つ以上記入した。 以前の設定と違う。 時報なのに全く秒記入がなかった。 吹鳴時間とチャイムの指定がある。 タイマなのにチャイムの指定がある。	時報又はタイマ、マークを表示 
曜日指定	全くなかった場合 ① タイマで吹鳴なし、曜日なし。 ② タイマで吹鳴あり、曜日なし。 ③ 時報で吹鳴あり、曜日なし。	吹鳴時間を秒位置に表示 
時刻指定	時の 10 位に 1 2 とともに記入した。 時の 1 位に 2 つ以上指定した。 又は全く記入しなかった。 分の 10 位に 2 つ以上指定した。 又は全く記入しなかった。 分の 1 位に 2 つ以上指定した。 又は全く記入しなかった。 タイマーで切時刻記入なし。入時刻を表示。	A. 第 1 列目の不良は曜日表示  B. 第 2 列目以降は、不良の一つ前 
設定オーバ	240 設定以上設定した場合、241 番目の時刻を表示し、フリッカーする 240 番目の時刻は正式に記憶する。	報時要素がすべてフリッカー 
タイムマーク	タイムマーク部分がよどれ又は損傷して数を多く又は少なく数えた場合。	時の 10 位に E を表示 

3-4) プログラム内容のチェック

報時出力の操作スイッチ ②③ の各回路毎に設けられたプログラム呼出キー ②④ を押すと、表示部 ①⑤ に表示されていた現在時刻が消え、秒の位置に吹鳴時間を表示し、曜日、時刻、時報、タイマーは設定されている内容を表示します。

表示内容は、カードで設定した順番です。
す。最終に設定した時刻の次は End と秒

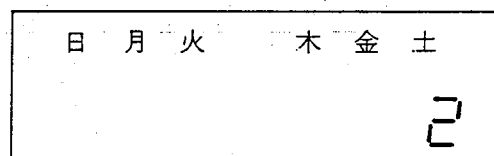
1 位の位置に回路番号が表示されます。次に押して表示された時刻が、その回路に記憶させた順のトップです。吹鳴時間はチャイムの場合 - ③ は ① - ⑩ は ② と表示します。



タイマーの場合「入」の時刻はタイマーマーク ◎ が点灯し、「切」の時刻はタイマーマークが点滅します。

3-5) 休日設定のチェック

時刻合わせキー ①⑥ の 曜日 キーと、報時出力 ②③ のプログラム呼出キーを同時に押すと臨時休日にした曜日以外が全部点灯します。例えば水曜日を臨時休日にすると、呼出キーを押した回路が 2 回路であれば右のようになります。全回路チェックしてください。



3-6) プログラム消去のチェック

プログラム呼出キーを押してください。表示が出なければ完全に消えたことになります。回路消去の場合は指定した回路だけ消え、他の回路は残っている筈です。

4. プログラムタイマーの取扱い

4-1) 報時用出力スイッチ

各回路毎に設けられた、出力スイッチ ②⑥ により自動、断、手動の切換えをします。

- ① 自動位置：設定したプログラムに従って報時信号が出ます。
- ② 断位置：各回路毎に出力を停めます。
- ③ 手動位置：手動でプログラムに関係なく出力を出します。

このスイッチ操作により例えば夏、冬時間とか、平常、試験授業などの切換えができます。

4-2) 出力モニタ ②⑤

各回路毎に設けられ、自動でも手動でも出力が出ている時間だけ、発光ダイオード(赤)が点灯します。

5. ラジオ受信機 ㊄ の取扱い

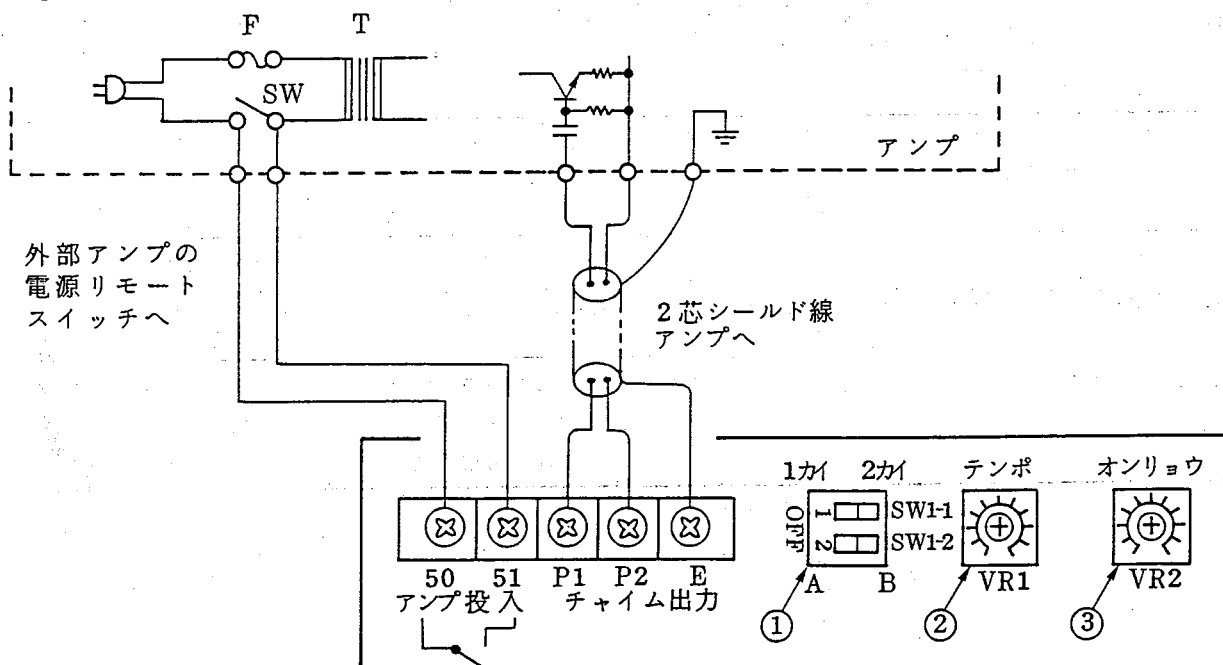
別紙 AM 用及は FM 用取扱説明書を参照してください。

6. 電子チャイム (H) の取扱い

◎本チャイム装置は、電子により鐘の実音に近い音色を出す電子チャイム装置です。

- | | |
|--------|--|
| ・入力電源 | DC 24V |
| ・消費電流 | (静止) 12mA (動作) 50mA |
| ・演奏時間 | 曲目A ウェストミンスター寺院の鐘
1回 約24秒 2回 約48秒
曲目B ホイッティングトン
1回 約36秒 2回 約72秒 |
| ・出力 | インピーダンス 10k Ω -25dB $\pm$ 3dB |
| ・アンプ投入 | 1回路、接点メーク(接点容量 AC125V 5A) |

◎チャイムの結線



◎取扱い要領

- ① ディップスイッチ SW₁₋₁演奏回数切換スイッチ
（上段のスイッチ） 1 カイ演奏 OFF（左側へ倒す）
 2 カイ演奏 ON （右側へ倒す）
- ディップスイッチ SW₁₋₂ A、B 曲目切換スイッチ
（下段のスイッチ） A 曲吹鳴 OFF （左側へ倒す）
 B 曲吹鳴 ON （右側へ倒す）
- ② ボリューム VR₁ テンポ調整ボリューム
チャイム演奏のテンポをボリュームにより調整します。
右に廻すと速くなり、左に廻すと遅くなります。
- ③ ボリューム VR₂ 音量調整ボリューム
チャイム演奏の音量をボリュームにより調整します。
右に廻すと音が大きくなり、左に廻すと音が小さくなります。

7. 電池の交換

12V1箇、24V1箇が、電池箱 に収納してあります。コネクター接続になってい
ますからコードの色が合うように交換してください。12Vは赤青 24Vは赤黒 ⑥
です。

8. 故障対策

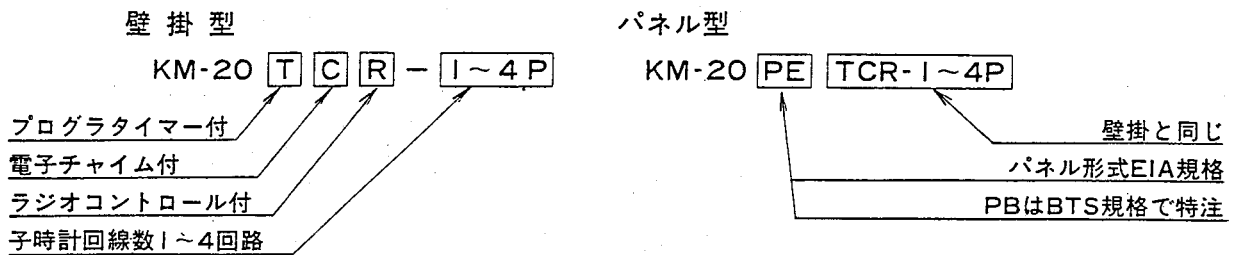
AC電源が正常かどうかを確認してから、下記の対策を行なってください。

対策の表中 (※) 印の項は、最寄りの弊社営業所にお知らせください。

故 障 内 容	確 認 事 項	原 因	対 策
すべての時分針が停止。	デジタル時計部 ⑮ が ①消えている。	AC電源 ⑮ のブレーカNF ₁ NF ₂ の断。	ブレーカの黄色釦を押す。 (※) 正常動作しない。
	⑨点滅して動いている。	一斉調針切換スイッチ ⑮ が「断」になっている。	時計を合わせる。 (※) 正常に動作しない。
主モニタ ① は正常で、回 線全部または特定の回線の み時分針が停止。(但し1回 線の場合は主モニタが停止)	停止している回線の回線異 常警報用LED ② が時計信 号時(30秒毎)に点灯する。	子時計または配線の短絡。	子時計及び配線を点検し障 害を除く。
全ての時分針は合って動作 しているが、大巾におくれ ている。	長時間停電がなかったか。	内部電池の電圧が下がり信 号電圧検知装置が動作し一 時的に時計を止めた。	時計を合わせる。
ラジオコントロール装置付 の場合1秒以上の誤差が生 じる。		ラジオ受信機の同調不良。	ラジオ受信機の手扱いに従 て調整する。 (※) 誤差がなおらない。
報時がプログラム設定通り に動作しない。		設定時期が適正でない。 出力スイッチが断。 出力端の結線不良。	設定時の項によりやりな おす。 (※) その他タイマ関係。

9. KM-20シリーズ仕様

■型 式 名



■仕 様

部 門	項 目	内 容				品 種 及 び 型 名			
		子 時 計 回 線				-20 T	-20TC	-20TR	-20TCR
		1回線(1P)	2回線(2P)	3回線(3P)	4回線(4P)	-20PET	-20PETC	-20PETR	-20PETCR
親 時 計	基 準 周 波 数	4194.304KHz							
	精 度	過差±0.7秒以内(0℃~40℃)ラジオコントロール付 のものは累積誤差0							
	使用温度範囲	-20℃~+60℃							
	時 刻 表 示	30秒間欠運針							
	秒 調 整	0秒規正方式							
	無接点出力信号	DC24V 30秒有極式 過電流防止及びサージアブソーバー付							
	子時計駆動数	30個	60個	90個	120個				
	子時計修正	自動早送り方式, 異常パルス幅発生防止装置付				○	○	○	○
	入 力 電 源	AC100V±10% 50/60Hz							
		15W	20W	25W	30W				
	停電時電源	密閉型ニッケルカドミウム蓄電池内装 DC24V 1個, DC12V 1個使用							
	電 池 保 護	過放電防止装置付							
	停電動作時間	30時間	30時間	10時間	10時間				
		時報メモリー部1週間							
カ ー ド 式 プ ロ グ ラ ム タイ マ ー	ケ ー ス	鋼板製							
	仕 上 色	クリーム(2.5Y 9/1)半ツヤ							
	重 量	10.5kg	11.0kg	11.5kg	12.0kg				
	制 御 方 式	CPU使用 全電子式 回路および時刻の設定はカードによる							
	設 定 単 位	1週間を1分単位							
	出 力 回 路	独立6回路							
	出 力 動 作 数	6回路合計240動作 但し1回路に240動作全部設定することも可能				○	○	○	○
	時 報 出 力	接点メーク時間(1秒単位に1秒から59秒まで可能)							
	タイマー出力	設定時刻から設定時刻まで継続							
	休 日 設 定	基本設定の変更を行わず任意の曜日を任意の定休日扱いにする。その曜日を過ぎると自動復帰							
ラ ジ オ コ ン ト ロ ー ル	出 力 信 号 容 量	接点メーク信号(接点容量AC125V 2A)							
	時 刻 表 示	曜日, 時, 分, 秒, デジタル蛍光表示(停電時消灯)							
	受 信 機	局部発振は水晶使用							
	受信周波数範囲	530~1,605KHz内のNHK第1放送(受信局指定のこと)							
	受 信 感 度	電界強度50dB(約0.3mV/m)以上 ※アンテナは別途必ず設置のこと						○	○
	時刻修正範囲	正時に対し±30秒							
チ ャ イ ム	修 正 回 数	1日2回							
	修 正 方 式	周波数自動可変方式							
	チ ャ イ ム	電子式(曲目ウエストミンスター寺院の鐘)					○		○
	出 力	インピーダンス 10KΩ -25dB±3dB							
	ア ン プ 投 入	1回路, 接点メーク(接点容量AC125V5A)							

10. 各部の名称と機能

①	モ ニ タ 部	PUSH マーク位置を押して上に開き内部点検ができます。
①	主 モ ニ タ	基準時刻の表示、1 回線は子時計回線モニタを兼ねます。
②	子時計回線モニタ	子時計の監視、2、3、4 回線用の 3 種類あります。
③	カード・リーダ部	カードの記入内容を読み取ります。
④	カード挿入口	右サイドから入れると自動的に引き込みます。
⑤	カード取出口	左手前から出て、自動的に停止したら手で抜き出します。
⑥	表示・操作部	デジタル表示部と、時刻合わせ及びタイマーの操作部を備えています。
⑦	時刻表示部	蛍光表示管で曜日、時刻、タイマー及び時報の表示をします。
⑧	時刻合わせキー	マイコンの時刻を合わせます。
⑨	0 秒合わせキー	キーを押した時刻が 0 秒になるように時計は自動的に合います。
⑩	一斉調針切換	主モニタ及び各子時計を一斉に停止させたり、早送りしたりします。
⑪	報時出力 1～6	1～6 回路のタイマー出力を制御します。
⑫	プログラム呼出キー	各回路に設定されているプログラムの内容呼び出してチェックします。
⑬	出力モニタ	タイマーの出力が出たときに赤色 LED が点灯します。
⑭	出力スイッチ	自動、断、手動の切換えをします。
⑮	記入ラベル	各回線に何を結線しているか、記入しておく便利です。
⑯	電池箱	停電対索用に制御用 12V、子時計用 24V の電池があります。
⑰	制御部	マイコンを含むあらゆる制御機能を持っています。
⑱	A C 電源制御	AC100V の接断スイッチと 2 ケのノーフェーズブレーカーがあります。
⑲	D C 電源制御	DC 12V、DC 24V を同時に接断するスイッチと夫々にノーフェーズブレーカーがあります。
⑳	子時計回線制御部	2 回線以上のときに必要で、1 回線のときはありません。
㉑	調針切換	回線毎に子時計を停止させたり早送りさせたりします。2、3、4 回線用があります。
㉒	回線異常警報	回線に異常電流が流れたとき LED が点灯します。回路は保護されています。
㉓	ラジオ受信部	NHK 第一放送の時報を受信し、時計部を自動的に合わせます。
㉔	同 調	イヤホンを開き最もよく聞こえるよう調節します。
㉕	イヤホン	イヤホンを付属させています。
㉖	電子チャイム部	マイコン利用のチャイムです。ウエストミンスター寺院の鐘の音です。
㉗	奏鳴 1,2 回切換	1 回奏鳴する場合と 2 回繰返し奏鳴する場合と切換えられます。
㉘	音 量	使用するアンプにより、音量を調節します。
㉙	ラジオ電源スイッチ	㉔ 基板上にあり、スイッチを操作するとラジオの電源が入れます。
㉚ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	入出力ライン	機種により一部又は全部接続します。 ③ AC100V 入力 ④ 電池ライン ⑤ DC 12V 電池赤、青 ⑥ DC 24V 電池赤、黒 ⑦ 1 回線用子時計ライン ⑧ 2、3、4 回線用子時計ライン ⑨ 1～6 回路報時用信号ライン ⑩ アンテナライン又は外部同期用信号ライン ⑪ アンプ投入ライン ⑫ チャイム出力ライン
	アース端子	

プログラム設定表

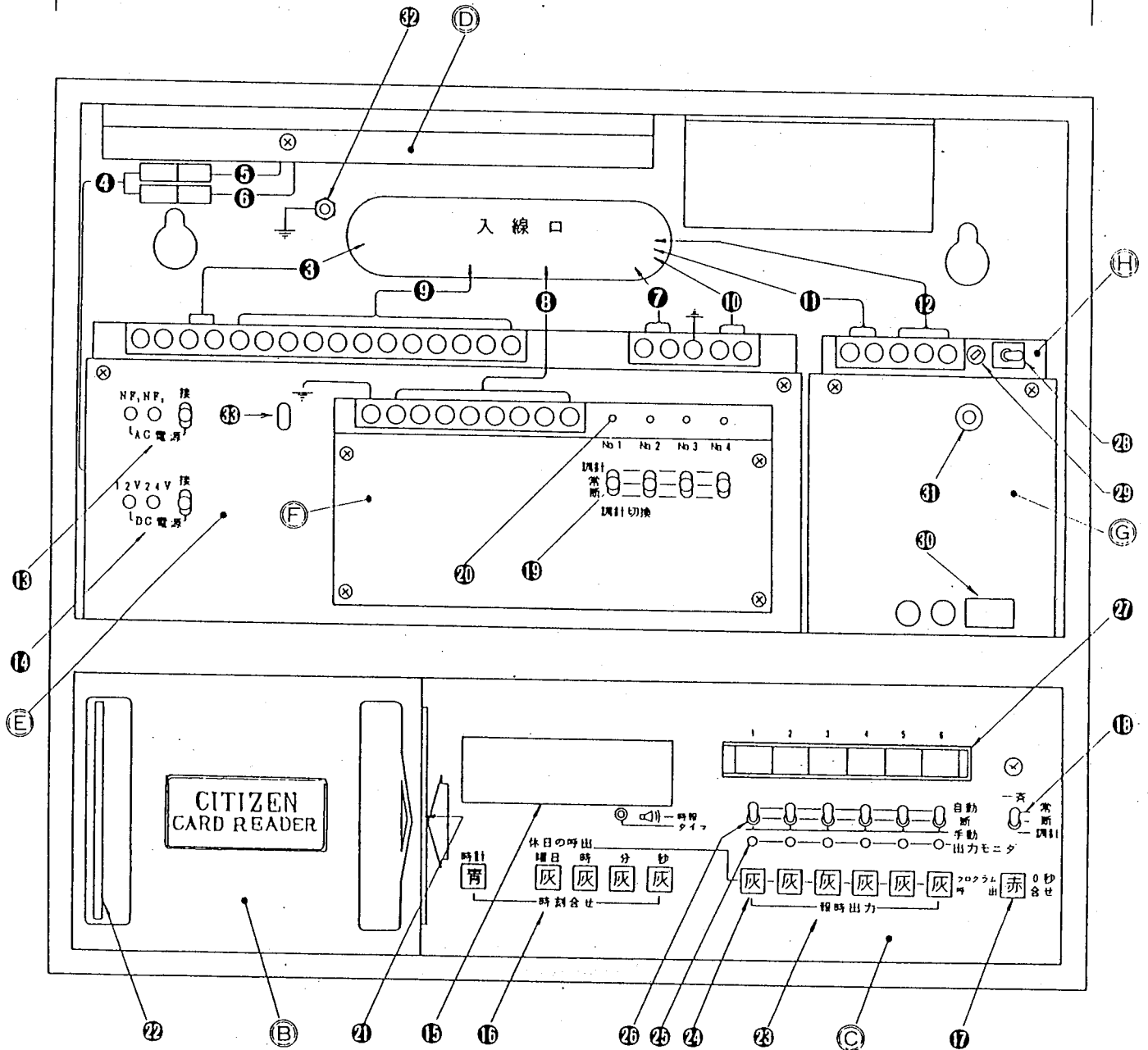
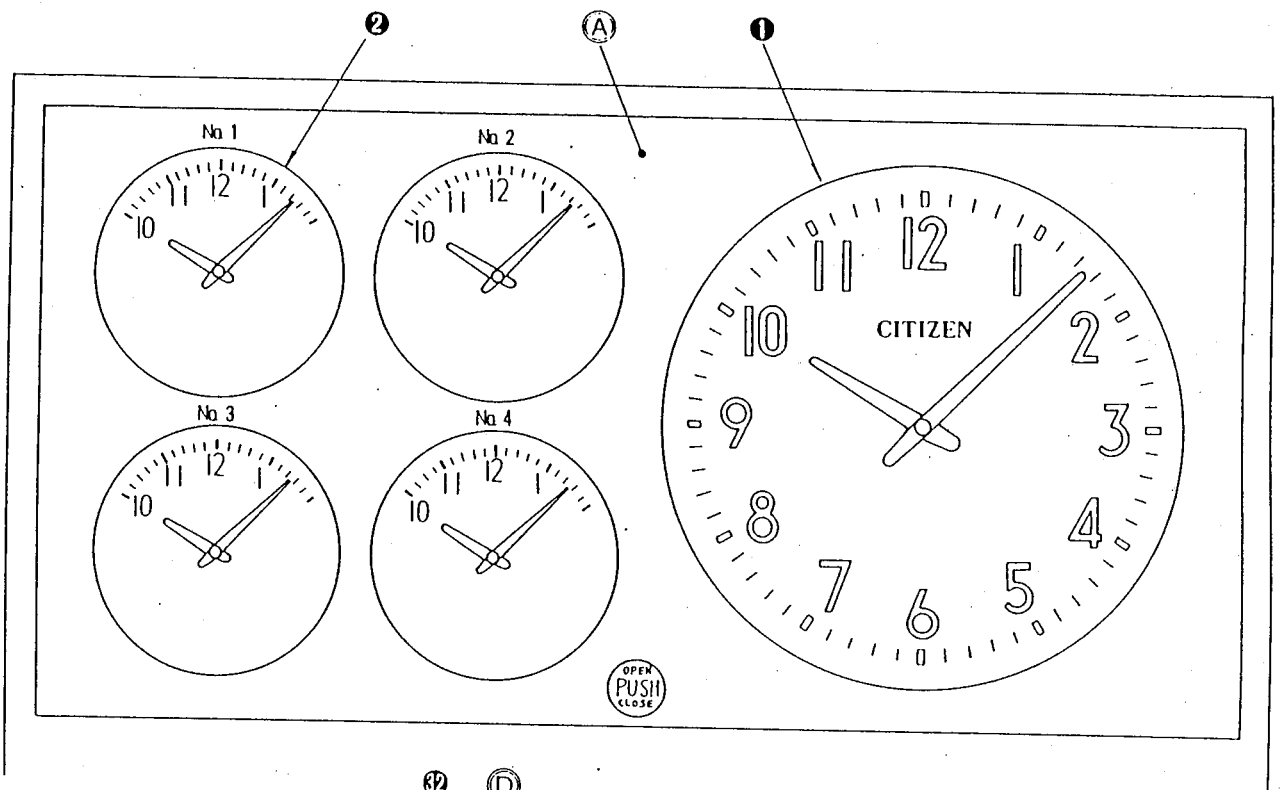
記入年月日 年 月 日

用途	使用回路	下の一つを○で囲む					
		1	2	3	4	5	6
☐ 時報 ☐ タイマ 吹鳴時間 秒 入時刻 切時刻							
カード No.							
曜日		日	月	火	水	木	金 土
時刻		○	○	○	○	○	○
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○

用途	使用回路	下の一つを○で囲む					
		1	2	3	4	5	6
☐ 時報 ☐ タイマ 吹鳴時間 秒 入時刻 切時刻							
カード No.							
曜日		日	月	火	水	木	金 土
時刻		○	○	○	○	○	○
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○
		:	:	:	:	:	:
		○	○	○	○	○	○

記入年月日	年 月 日
-------	-------

-16-



プログラム設定表

記入年月日 年 月 日

用途				使用回路	下の一つを○で囲む							
	○時報	○タイマ	吹鳴時間	秒	●入時刻	○切時刻	1	2	3	4	5	6
カード No.												
曜日	日	月	火	水	木	金	土					
時刻	○	○	○	○	○	○	○					
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					

用途				使用回路	下の一つを○で囲む							
	○時報	○タイマ	吹鳴時間	秒	●入時刻	○切時刻	1	2	3	4	5	6
カード No.												
曜日	日	月	火	水	木	金	土					
時刻	○	○	○	○	○	○	○					
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					
	○	○	○	○	○	○	○					

プログラム設定表

記入年月日 年 月 日

用途	使用回路			下の一つを○で囲む						
	1	2	3	4	5	6				
○時報 ○タイマ 吹鳴時間 秒				●入時刻	○切時刻					
カード No.										
曜日	日	月	火	水	木	金	土			
時刻	○	○	○	○	○	○	○			
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
○	○	○	○	○	○	○				

用途	使用回路			下の一つを○で囲む						
	1	2	3	4	5	6				
○時報 ○タイマ 吹鳴時間 秒				●入時刻	○切時刻					
カード No.										
曜日	日	月	火	水	木	金	土			
時刻	○	○	○	○	○	○	○			
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○	○	○			
○	○	○	○	○	○	○				

プログラム設定表

記入年月日 年 月 日

用途	使用回路	下の一つを、で囲む						
		1	2	3	4	5	6	
☐ 時報 ☐ タイマ 吹鳴時間 秒	☐ 入時刻 ☐ 切時刻							
カード No.								
曜日		日	月	火	水	木	金 土	
時刻		:	:	:	:	:	:	
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。		:	:	:	:	:	:	
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:

用途	使用回路	下の一つを、で囲む						
		1	2	3	4	5	6	
☐ 時報 ☐ タイマ 吹鳴時間 秒	☐ 入時刻 ☐ 切時刻							
カード No.								
曜日		日	月	火	水	木	金 土	
時刻		:	:	:	:	:	:	
註 1. カード No. は、このプログラムを作成するために、何枚のカードを使うか確かめて、同じカードに入れられる曜日は同一番号を記入する。 2. 左上の○印は、タイマーとして使用する場合だけ記入します。入時刻は●にし、切時刻は○のままとする。		:	:	:	:	:	:	
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:
		:	:	:	:	:	:	:

シチズンTIC株式会社